株式会社マルマエ
www.marumae.com

東証マザーズ(TSE Mothers):6264

株式会社マルマエ
平成23年8月期 決算説明会

平成23年10月14日
東京国際フォーラム G605



Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

1.決算概要

P/L分析

P/L

	平成22年8月期		平成23年8月期		
	金額（百万円）	割合（%）	金額（百万円）	割合（%）	対前年同期増減率（%）
受注高	1,037	—	1,176	—	13.4
受注残高	277	—	196	—	▲29.1
売上高	938	100.0	1,266	100.0	35.0
売上原価	952	101.5	1,081	85.4	13.5
売上総利益又は売上総損失（▲）	▲14	▲1.5	185	14.6	—
販売管理費	213	22.7	180	14.2	▲15.4
営業利益又は営業損失（▲）	▲227	▲24.2	5	0.4	—
経常損失（▲）	▲287	▲30.6	▲49	▲3.9	—
特別損益（▲）	▲113	▲12.1	▲335	▲26.5	—
純損失（▲）	▲405	▲43.2	▲389	▲30.7	—
EPS（円）	▲21,885.65	—	▲21,262.96	—	—
EBITDA	111	—	248	—	123.4

Point

①受注状況

■ 切削加工事業：1,313百万円
（対前年同期：37.4%増）

■ 装置組立事業：▲137百万円
（前年同期：81百万円）

※液晶及び太陽電池製造装置の受注キャンセル処理

②販売実績

■ 切削加工事業：1,261百万円
（対前年同期：37.5%増）

■ 装置組立事業：4百万円
（対前年同期：76.1%減）

③セグメント別営業損益

■ 切削加工事業：38百万円

■ 装置組立事業：▲33百万円

④営業外費用

• 支払利息：36百万円

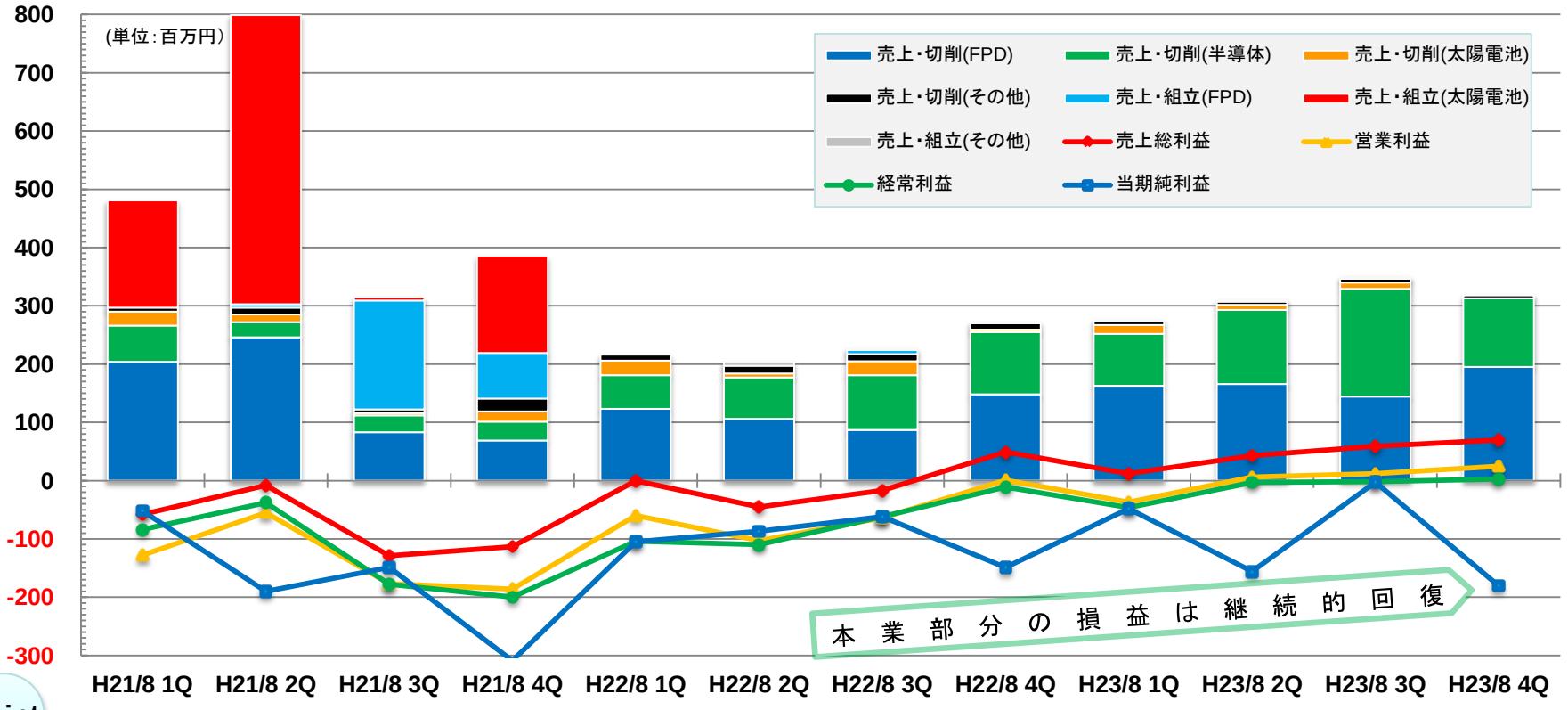
⑤特別損益

• 固定資産売却益：74百万円
• 債務免除益：30百万円
• 減損損失：327百万円
• 事業構造改善費用：125百万円

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

1.決算概要

四半期業績の推移



Point

①精密切削加工事業の売上高は改善傾向

■FPD分野:669百万円(対前年同期:43.5%増)
- 中小型装置部品の需要が好調

■半導体分野:521百万円(対前年同期:56.8%増)
- タブレット型PC・スマートフォン向け需要拡大

■太陽電池分野:36百万円(対前年同期:39.8%減)

■ その他分野:34百万円(対前年同期:40.7%減)

②利益面も総体的に改善傾向が継続
- 営業利益、経常利益共に改善
- 減損損失及び事業構造改善費用の特殊要因

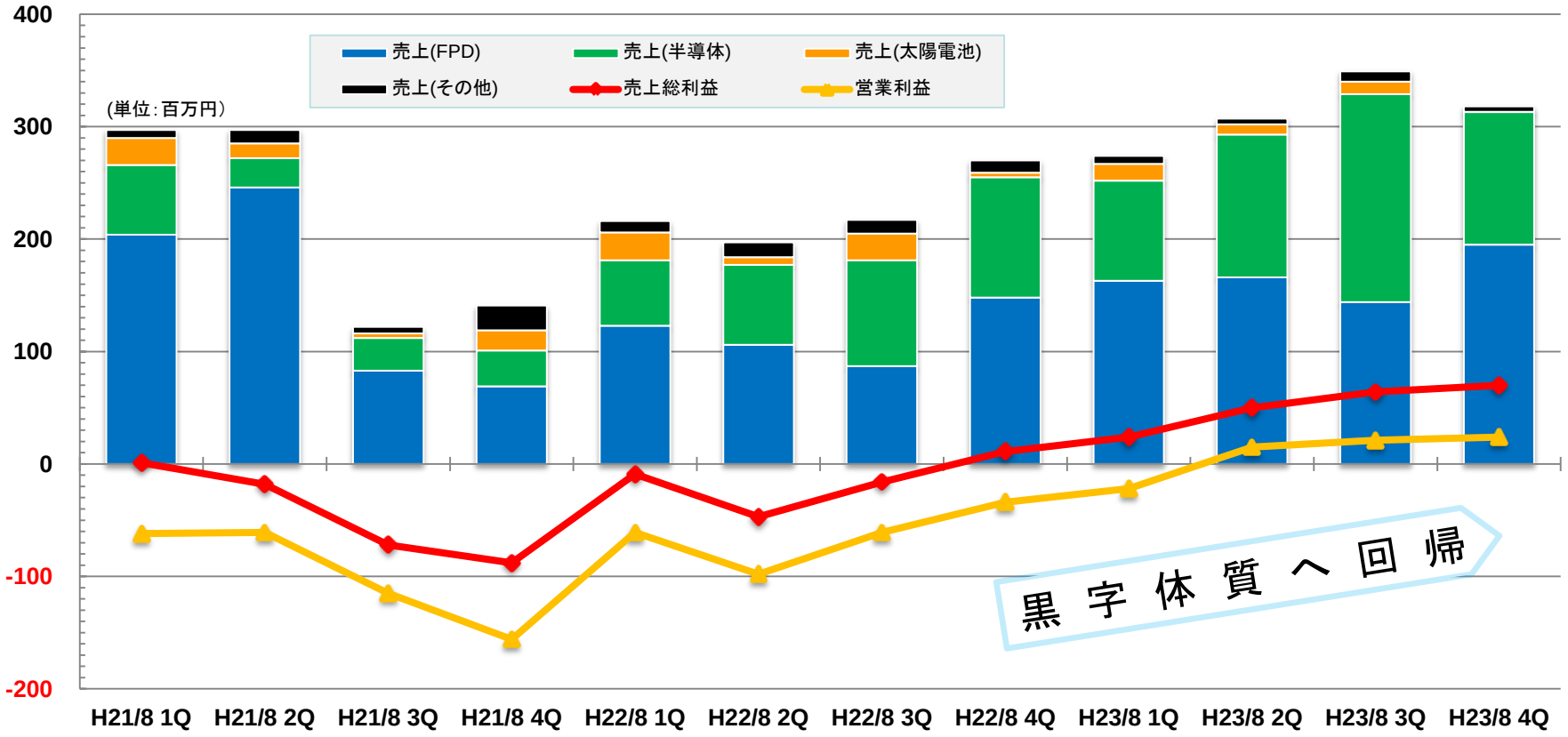
Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

進化する技術で未来を拓く

1.決算概要

株式会社マルマエ
www.marumae.com

精密切削加工セグメント四半期業績の推移



Point

①精密切削加工事業への集中方針(本業回帰方針)

②リーマンショック後の落ち込みから、半導体分野拡大方針に伴って着実な売上改善

③第4四半期以降はリストラ効果も出始め、営業黒字定着

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

1.決算概要

B/S分析

B/S

（単位：百万円）	平成22年8月期 会計年度末	平成23年8月期 会計年度末
流動資産	793	662
現金及び預金	270	144
受取手形・売掛金	333	452
たな卸資産	142	46
固定資産	2,255	1,583
建物・土地	1,181	990
機械及び装置	743	416
流動負債	836	152
有利子負債（短期）※	724	6
固定負債	1,995	2,018
長期借入金	1,980	2,008
負債合計	2,831	2,170
純資産合計	217	74
総資産	3,049	2,245

※　有利子負債（短期）：短期借入金＋1年以内返済長期借入金

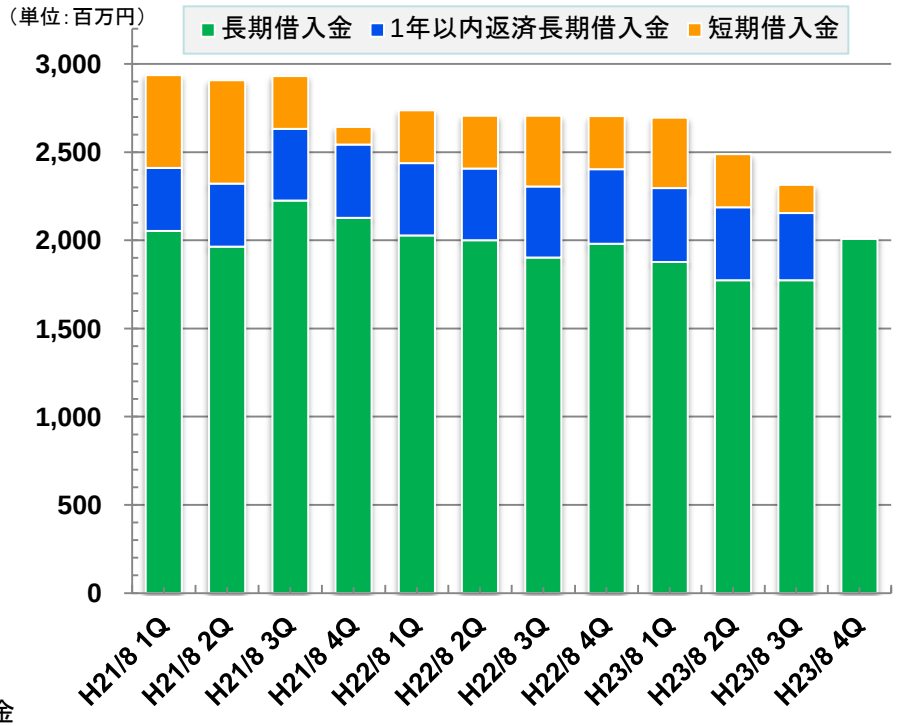
Point

① **資産：2,245百万円(前期末比：804百万円減少)**
- 有形固定資産：689百万減少

② **負債：2,170百万円(前期末比：660百万円減少)**
- 短期借入金：300百万円減少
- 1年以内返済予定長期借入金:417百万円減少

③ **純資産：74百万円(前期末比：143百万円減少)**
- 自己資本比率　3.3%

④ **継続企業の前提に関する注記を解消**



Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

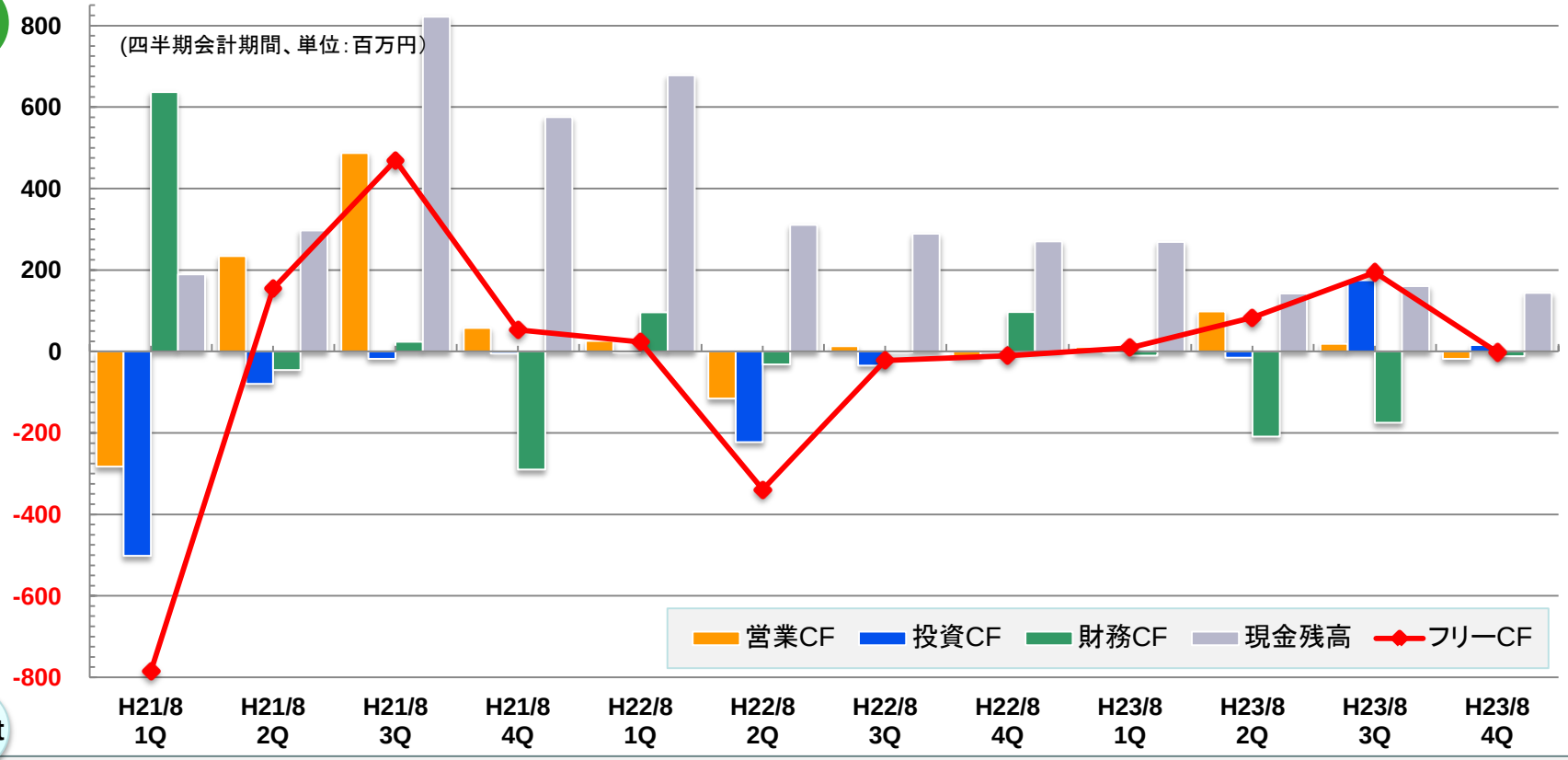
進化する技術で未来を拓く

1.決算概要

株式会社マルマエ
www.marumae.com

CF分析

CF



Point

①営業活動によるキャッシュ・フロー:110百万円

- 税引前当期純損失:385百万円
- 減価償却費:243百万円
- 減損損失327百万円　・棚卸資産の減少額:95百万円
- 売上債権の増加額:118百万円

② 投資活動によるキャッシュ・フロー:174百万円

- 有形固定資産の売却による収入:205百万円

③財務活動によるキャッシュ・フロー:▲406百万円

- 短期借入金の返済による支出:146百万円
- 長期借入金の返済による支出:267百万円

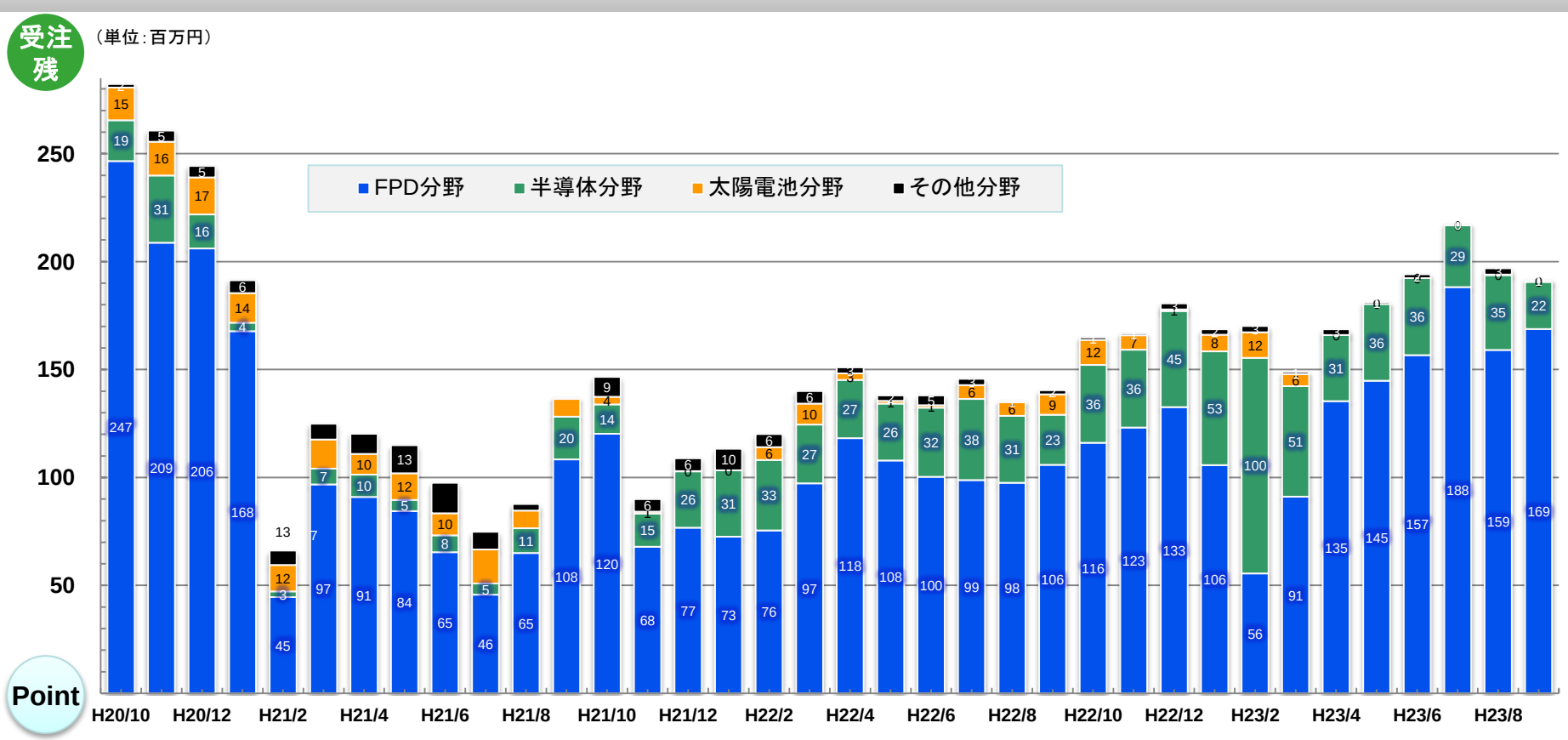
Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

進化する技術で未来を拓く

2.事業環境

株式会社マルマエ
www.marumae.com

月次受注残高の推移（精密切削加工事業）



① FPD分野は、中小型製造装置向けの需要が継続し、受注及び出荷検収とも好調に推移
② 半導体分野は、出荷検収は順調に進みながらも、市況の減速が顕著でリピート品の受注が減少
③太陽電池分野は、受注再開したものの、受注及び出荷検収は対前月微増程度

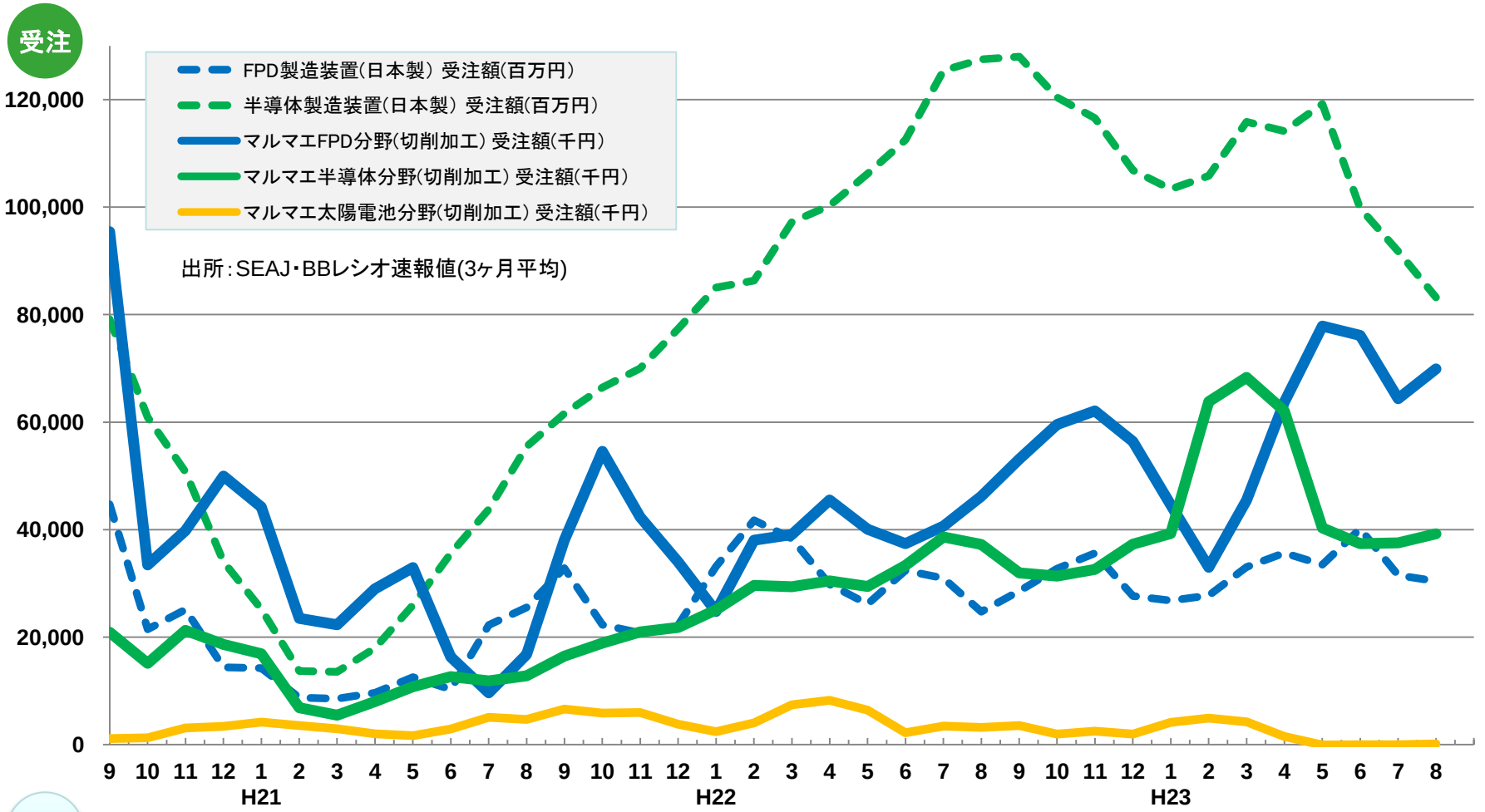
※当社の受注は、案件ごとに長短さまざまなリードタイム（LT)があり、LTの長い案件が多いと売上高にくらべ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高にくらべ受注残は低めに表れます。（主に半導体はLTが短く、FPDはLTが長めです）

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

2.事業環境

株式会社マルマエ
www.marumae.com

市場とマルマエの受注動向比較（3ヶ月移動平均数値）



Point

①FPD分野は、受注の山谷がありながらも、タブレットPC等に向けた製造装置需要が継続
②半導体分野は、新規装置向け部品と消耗部品ともに受注減少が続く見通し
③太陽電池分野は、薄膜系の装置需要は停滞しながらも他分野装置部品の受注は回復傾向

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

2.事業環境

販売分野別の環境と営業方針

FPD分野

- ◆ スマートフォン・タブレットPC向け中小型製造装置で活況続く
- ◆ 中小型装置部品の受注は複数工程（顧客）へ拡大
- ◆ 有機EL向けも受注好調

半導体分野

- ◆ 製造装置は工程と顧客によって秋口～年明けまで停滞予想
- ◆ 消耗品の受注品種拡大と開発案件の拡大方針
- ◆ 社内生産方式の改善でコストダウン推進

太陽電池分野

- ◆ ADR完了で主要顧客との取引口座正常化
- ◆ 一部薄膜系製造装置に開発加速の動き（買電の新制度背景）
- ◆ 電極など主要部品の試作品受注継続

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

3.平成24年8月期の業績予想

株式会社マルマエ
www.marumae.com

次期の見通し

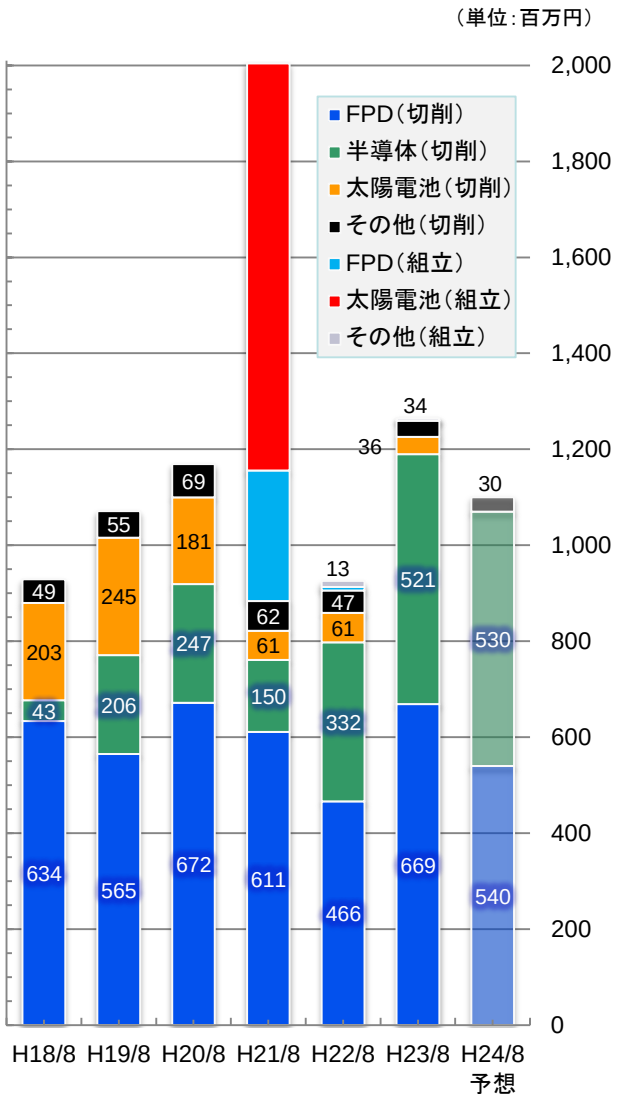
業績予想

(単位:百万円、1株当たり四半期純利益は円)

平成24年8月期 業績予想	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
第2四半期累計期間	592	51	31	23	1,318.35
通期	1,100	60	20	10	573.19

Point

- **売上高**
  - **FPD分野**
    - 中小型製造装置部品は、幅広い工程の顧客から引き合い継続
    - 第2四半期以降に若干の調整予想
  - **半導体分野**
    - 市場環境の悪化⇒量産リピート品の一部は受注減少見込
    - 消耗品の受注品種拡大と研究開発用途の試作品受注拡大
  - **太陽電池分野**
    - 信用リスクの低減により順次復調予想
- **利益面**
  - 事業再生計画による固定費圧縮が通年寄与⇒経常利益の計上



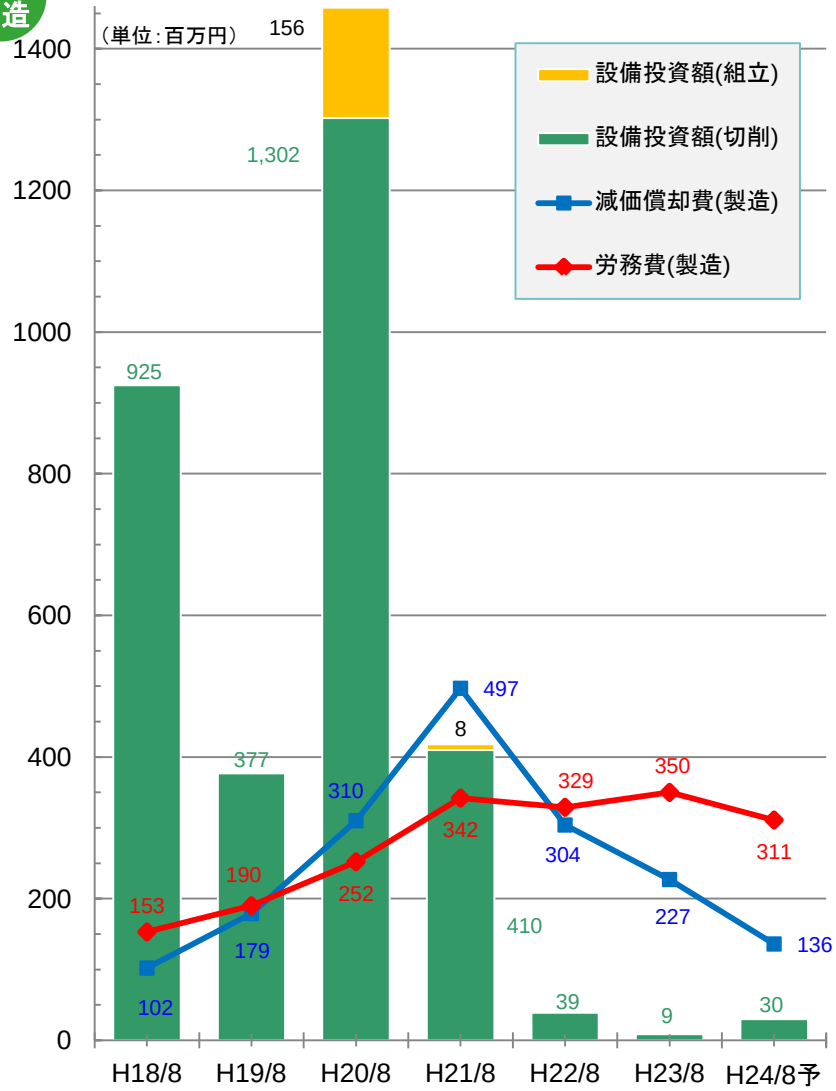
Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

3.平成24年8月期の業績予想

株式会社マルマエ
www.marumae.com

設備投資額の推移と費用構造

費用構造



Point

①装置組立事業の廃止
- 不採算事業の廃止

②固定資産の売却方針
- 電子ビーム溶接機（EBW）・熊本事業所等

③投資計画は低調
- 設備投資は小型設備を予定

④労務費
- 前期の希望退職募集により固定費は減少

⑤減損
- 平成23年8月期に下記減損損失を計上

場所	用途	種類	減損損失額（千円）
鹿児島県	事業用資産	土地	8,543
		建物	2,909
		構築物	89
		機械及び装置	11,551
	遊休資産	建設仮勘定(EBW)	144,900
熊本県	遊休資産	土地	72,023
		建物	65,795
		構築物	5,675
		機械及び装置	12,662
		車輌運搬具	29
		リース資産	2,491
		工具・器具・備品	1,031
合計			327,704

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

進化する技術で未来を拓く

4.経営方針

事業再生計画を策定

基本方針

当社の原点である金属精密切削加工技術にこだわり、**先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニー**となり、国内外を問わずさまざまな分野で総合メーカーを支える企業を目指します。

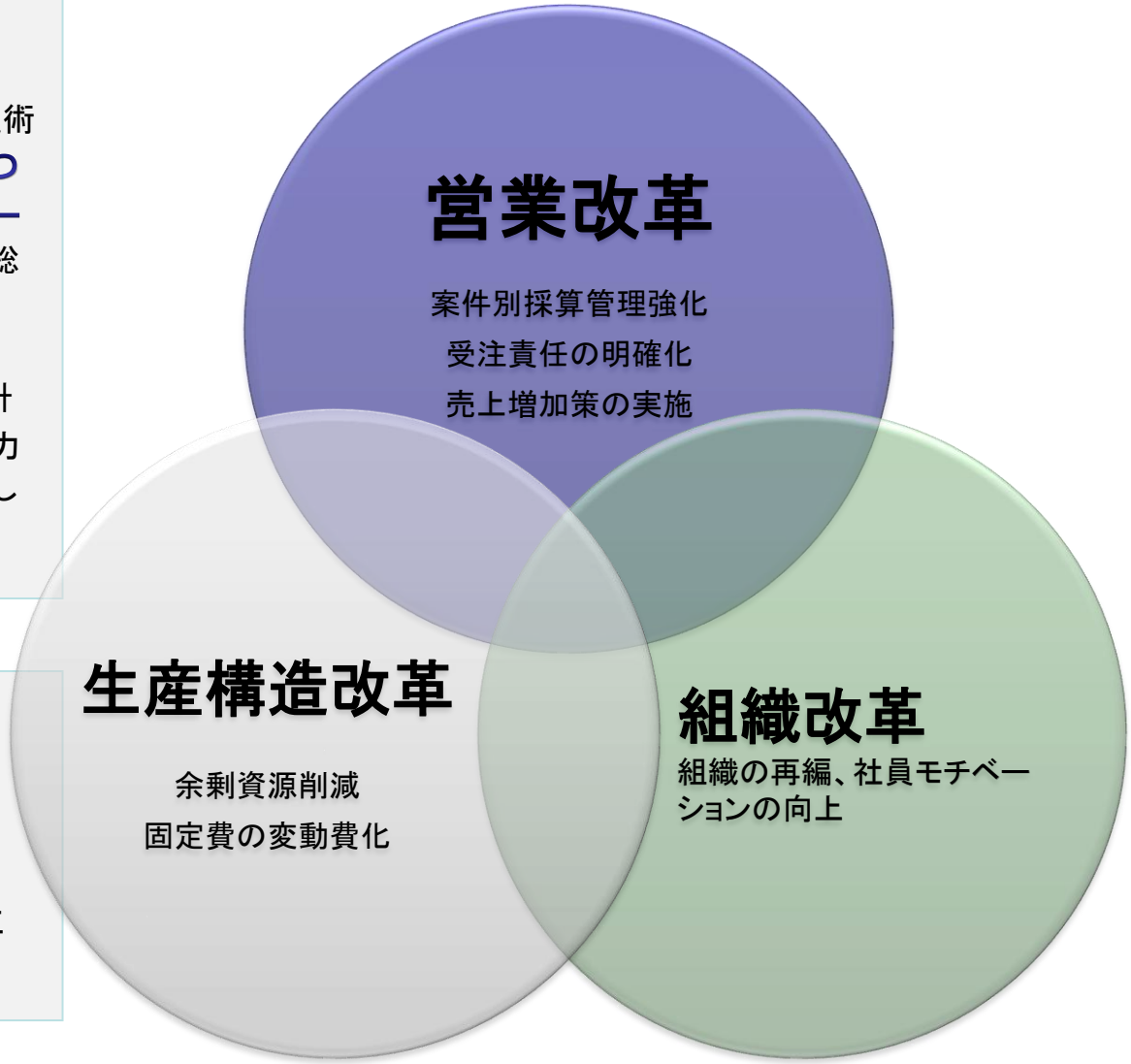
当社は、設備投資による規模拡大の方針から、**「原点回帰」**をテーマに人的技術力を高め、精密切削加工技術の本質を追求していきます。

経営指標

EBITDA

営業損益に減価償却費を加算

✓ 債務の弁済と強固な収益体質の確立



Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

5.事業再生ADRの進捗

金融支援の進捗状況

当事業再生計画における債務の株式化（第三者割当によるA種優先株式の発行）と債務の劣後化および債権放棄による金融支援策は実行され、当会計年度末における債務超過を回避

債務の株式化 （デット・エクイティ・スワップ）	借入先	– 取引先2金融機関
	債務の内容及び金額	– 借入金246百万円
債務の劣後化（デット・デット・スワップ） 及び 債権放棄の組み合わせ	借入先	– 取引先1金融機関
	債務の内容及び金額	– 借入金143百万円 – DDS　借入金　113百万円 – 債権放棄　借入金　30百万円
債務の返済条件緩和 （返済方法及び返済期日の変更）	借入先	– 取引先6金融機関
	債務の内容及び金額	– 借入金2,015百万円 – 各期におけるキャッシュ・フロー及び期末現預金残高に基づく返済

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

進化する技術で未来を拓く

注意事項

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関しての責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先
株式会社マルマエ　管理部総務課　IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-64-2900　FAX 0996-64-2863

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

Company Profile

企業情報

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

会社概要

株式会社マルマエ
www.marumae.com

進化する技術で未来を拓く

会社名	株式会社マルマエ （Marumae Co., Ltd）
設立	昭和63年10月
資本金	1億3300万円 （平成23年8月31日現在）
役員	代表取締役社長 前田俊一 取締役 海崎功太　　監査役 紫尾俊一 取締役 藤山敏久　　監査役 寺畑幸雄 監査役 森毅憲
従業員数	84名 他 臨時雇用者等12名 (平成23年8月31日現在)
所在地	本社　〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所　〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15
事業内容	・精密機械・精密機器の設計・製造・加工・組立 ・精密機械部品の設計および製作 ・溶接部品の設計製造 ・運送業務
経営理念	1.技術は究極を目指し 2.競争と協調を尊び 3.技術注力企業として社会に貢献する 経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。 そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。

大株主		
	前田　俊一	9,270株
	株式会社マルマエ（自己株）	1,094株
	前田　美佐子	840株
	前田　良子	300株
	五十嵐　光栄	279株
	マルマエ共栄会	204株
	平岩　靖	128株
	齊脇　和紀	124株
	柳　春逢	121株
	出口　勝志	115株

敬称略　平成23年8月31日現在

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

会社沿革

株式会社マルマエ
www.marumae.com

進化する技術で未来を拓く

年月	沿革
昭和40年4月	鉄工所を故前田務（元社長、元相談役）が個人で創業
昭和63年10月	個人経営の鉄工所をマルマエ工業有限会社（現当社）に改組（出資金2,000千円）
平成4年	オートバイ部品製造目的のT'sM'sR&D（現当社事業）を前田俊一（現代表取締役社長）が個人で創業
平成9年9月	T'sM'sR&Dの事業をマルマエ工業有限会社が引継いでR&D事業部を設置
平成9年10月	R&D事業部にて発電所用タービンブレード受注開始、3次元CAD/CAMの導入
平成12年3月	同時5軸加工機導入
平成13年4月	株式会社マルマエに商号および組織変更（資本金10,000千円）
平成15年12月	鹿児島県出水郡高尾野町（現出水市）に本店移転、新本社工場竣工、大型5面加工機導入
平成16年4月	工場増床、高回転型門型加工機導入
平成16年12月	日本証券業協会によるグリーンシート銘柄指定（証券コード6264）
平成18年2月	鹿児島県出水市知識町に新工場（知識工場）取得
平成18年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
平成19年2月	熊本県菊池郡大津町の熊本事業所が稼働開始
平成19年5月	経済産業省発表の2007年度版「元気なモノ作り中小企業300」に選定
平成20年4月	埼玉県朝霞市の関東事業所が稼働開始
平成20年5月	熊本事業所組立工場竣工
平成20年5月	本社第4工場竣工
平成20年9月	熊本事業所加工工場増設
平成23年4月	熊本事業所の閉鎖
平成23年7月	事業再生ADR手続の成立

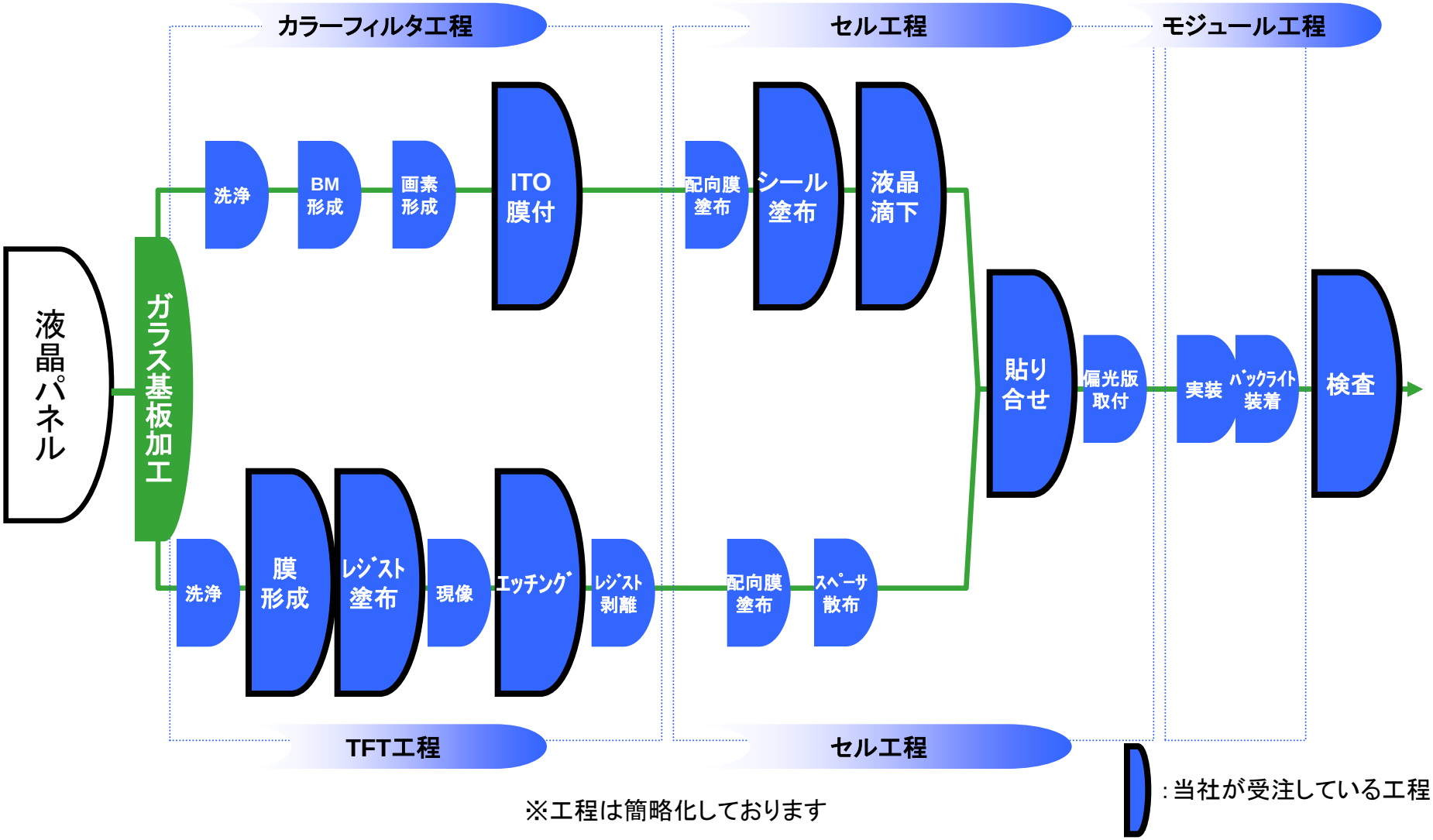
※注　個人事業部分については、月次の確定が困難なため月日の記載を省略しております。

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

販売分野

株式会社マルマエ
www.marumae.com

FPD分野～液晶パネル製造工程と当社関連工程



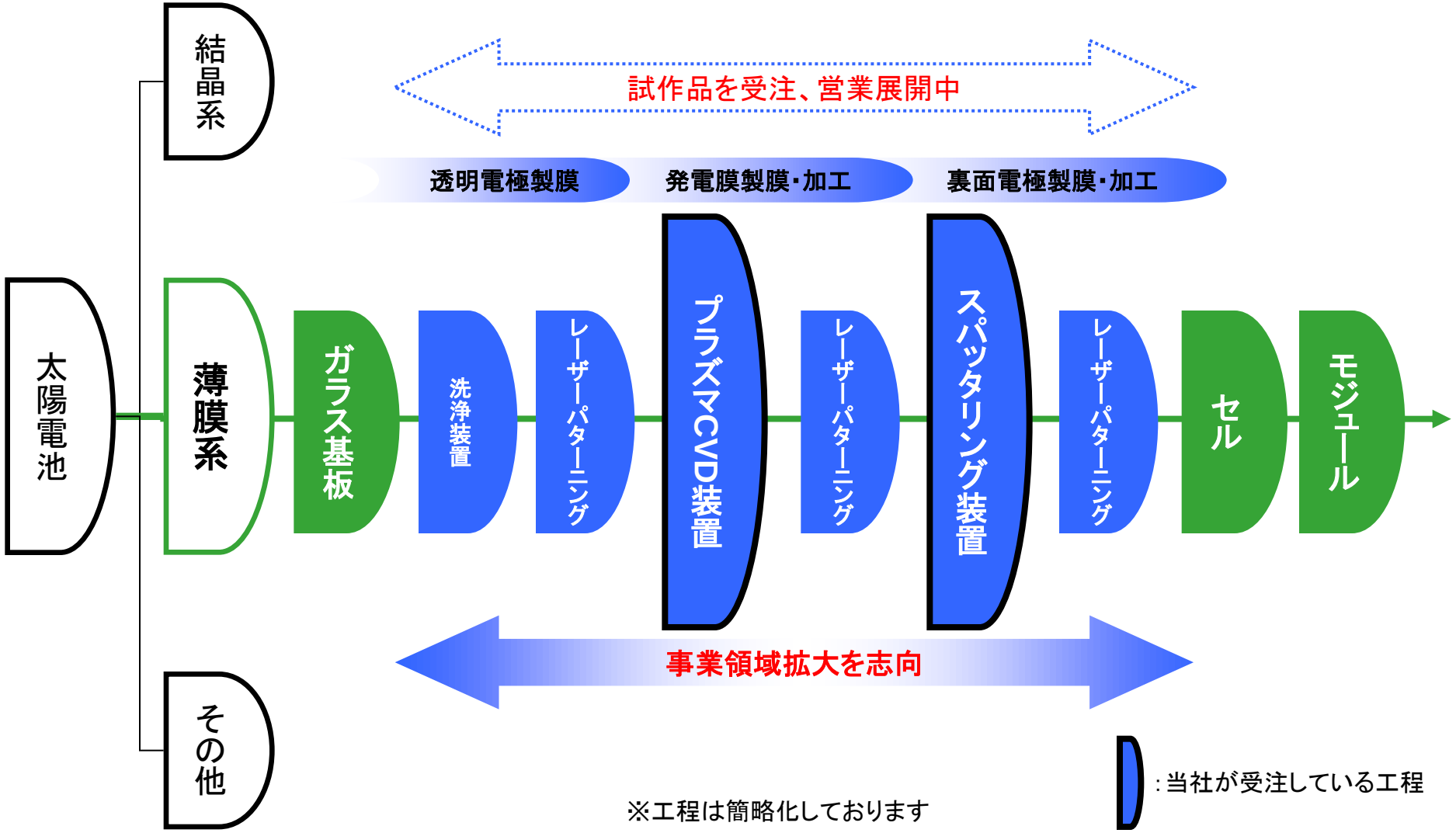
※工程は簡略化しております

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

進化する技術で未来を拓く

販売分野

太陽電池分野～太陽電池製造工程と当社関連工程



Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved